

御荘、城辺中学校の生徒が職場体験を行いました

役場の業務を ちよっぴり 体験

「オレンジカフェ ロバさん家」

「ロバさん家」でたくさんの高齢者の方とオカリナ演奏会を楽しみました。オカリナの演奏を聴きながら一緒に歌ったり、聞いたりしてみんな楽しそうに活動していました。その後は、高齢者の方と一緒にお話をして楽しみました。昔の愛南町のことや昔住んでいたところの方言のことなどをたくさん教えてもらいました。みんな話が上手でとても楽しむことができました。また、マスクの着用や手指消毒などをたくさんの方がしていてとても衛生面に気を付けているなと思いました。最後、解散するときには、誕生日を祝ってもらい、とても嬉しかったです。

「ロバさん家」は、たくさんの方がいて、保健師などの専門職の方も常駐していて、いろいろな人と話したい人や相談したい人におすすめです。みんなとても話しやすく、明るい雰囲気でもとても楽しめると思います。週ごとにやることも違うので飽きることなく楽しめると思います。毎週火曜日に開催しているので興味がある方は、ぜひ行ってみてください。



地域包括支援センターの方に認知症の症状や、専門職とは何なのかを教えてもらい、知らなかったことをたくさん学ぶことができました。今回の体験を通して、認知症の予防や、地域の人と関わるのにとてもいいところだなと思ったので「ロバさん家」に行くことを僕のおじいちゃんやおばあちゃんにすすめようと思いました。

「不法投棄現場確認」

僕は環境衛生課での業務体験で、不法投棄現場の確認に行きました。道や海などにごみがたくさん落ちていて、その多さにびっくりしました。また、山の中なのに漁具が落ちていたり、崖下に椅子などの家具が落ちていたりして、不法投棄の現実を見たようでした。回収してくださっている環境衛生課の方々のおかげで、こうしたごみをあまり目にしていなかったのだと気付きました。僕も地域の清掃などがあったら参加していきたいです。



「愛南ゴールド収穫体験」

農業支援センターで愛南ゴールドの収穫、梱包、出荷作業などの体験を行いました。すべて初めてのことで少し不安でしたが、職員の方がやり方を見せてくださったので、作業ができるようになりました。他にも、愛南ゴールドの収穫時期や歴史など、今まで知らなかった愛南ゴールドのことをたくさん教えていただきました。

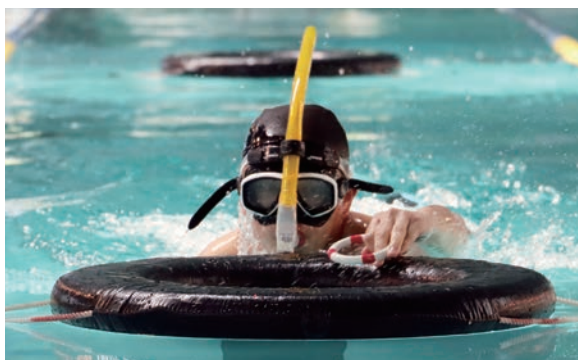
今回のように実際に作業するというイメージがあまりなかったので、「役場の仕事内容はいろいろな分野があるんだ」と驚きました。もともと役場の仕事に興味を持っていたので、さまざまなことを知ることができて本当によかったです。





愛媛
CATV
動画

6/27 消防救助活動の技術向上を目指して 「第53回消防救助技術四国地区指導会」消防署内選考会



▲瞬時に水中のリングを取り、2個目の救命浮環（浮き輪）をくぐる隊員

御荘B&G海洋センターで消防救助技術四国地区指導会消防署内選考会（水上の部）が行われ、山木穰（しろう）隊員と山田成人（しげと）隊員が出場しました。

選考が行われた種目は水中で行方不明者を検索する想定「複合検索」で、シュノーケリングで障がい物（救命浮環）を突破しながら水中に沈められた4つのリングを検索し引揚げるというもので、今回出場した隊員はともにスピードと正確さを兼ね備えたハイレベルな戦いを見せました。

県代表に選ばれた山田隊員は「先輩方の協力と指導の下で日々の訓練に励むことができたので、四国大会も強い気持ちで挑みたい」と話し、7月26日（土）に徳島市で開催された四国地区指導会において力強い泳ぎを見せました。

7/1 7月は「社会を明るくする運動」強調月間 第75回「社会を明るくする運動」広報パレード出発式



▲出発式参加者の皆さん

役場本庁駐車場で、今年75回目を迎える「社会を明るくする運動」の広報パレード出発式が開催されました。

この運動は、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を目指すもので、南宇和地区保護司会や更生保護女性会、愛南警察署など、およそ50人が参加しました。出発式では、内閣総理大臣からのメッセージとして、より多くの人に立ち寄り支援の活動を知ってもらい、協力の輪を広げること、そして「人は変えられる」と信じることの大切さが伝えられました。

その後、警察車両と広報車両が町内全域を巡り、住民に運動への理解と協力を呼びかけました。

7/3 災害時、自分の身を守るために 町内の小・中学校で防災学習を実施



▲強い揺れを疑似体験する児童たち

7月1日（火）から3日（木）にかけて、町内の小・中学校で防災学習が行われました。学習は、スライドや動画を視聴する座学と起震車に乗って揺れを体験する2部構成で行われました。

座学では、地震や津波が発生する仕組みや発生した時の避難方法などクイズを交えながら学びました。起震車体験では震度の強弱、横揺れや縦揺れを体験しました。起震車は過去に発生した地震を再現した揺れが体験できるもので、始まる前は笑っていた児童たちも揺れが大きくなるにつれ、真剣な表情に変わり必死に手すりをつかんでいました。感想を聞くと「小さな揺れの時は平気だったけど、震度7は動けないうらい揺れた」、「こんな揺れが突然来たら怖い」などと話していました。

南宇和高校相撲部と陸上部

県総体で健闘し四国・全国の舞台へ



5月31日(土)から県内の各会場で愛媛県高等学校総合体育大会が開催され、南宇和高校相撲部が四国総体、陸上部が四国総体とインターハイに出場を果たしました。

相撲部からは、河野羅桜さん(3年)・土居諒真さん(2年)・吉田琉聖さん(1年)が団体個人ともに県大会で優秀な成績を収め、四国総体に出場。個人戦において四国総体ベスト8に輝いた河野さんは、「インターハイ出場を目標に最後まで稽古に励んできました。インターハイ出場の夢は叶いませんでしたが、多くの方々に支えられた環境で相撲に励んだ3年間は高校卒業後の人生においても大きな財産になると感じ、感謝の気持ちでいっぱいです」と笑顔で話しました。河野さんの背中を追い、共に汗を流してきた土居さんは、「四国総体での経験を今後に生かし、自分の相撲ができるよう工夫した稽古をしていきたい」と述べ、同じく吉田さんは「最高目標はインターハイ出場。日々の稽古から全力でいきます」と力強く話しました。



▲左から吉田琉聖さん、下茅由虹さん、河野羅桜さん
柿本光毅さん、土居諒真さん

陸上部からは、ハンマー投げで下茅由虹さん(3年)と柿本光毅さん(2年)が四国総体に出場し、四国総体で6位入賞の下茅さんは念願のインターハイ出場を果たしました。雨が降る中、四国総体で力投を見せインターハイ出場を決めた下茅さんは「インターハイでは目標にしていた記録には届きませんでしたが、今まで支えてくれた方々への感謝を胸に、最後まで自信をもって投げることができました。陸上で学んだことを生かして、受験勉強も諦めず頑張りたい」と、次なるステップを見据えて話しました。下茅さんに憧れ、来年のインターハイ出場を志す柿本さんは「今年は初めての四国総体で緊張が出てしまいました。今回得た経験を生かし、来年を見据えたトレーニングに励んでいきたいです」と闘志を燃やしました。

地域おこし協力隊 活動日記

「南光叶夢センター、絶賛進化中」

『広報あいなん』をお読みの皆さま、お久しぶりです。南宇和高校併設の南光叶夢センターです。

今年で南光叶夢センターは3年目。昨年度多くの中学3年生に知ってもらえるよう企画を行った影響もあってか、今年度は1年生が非常に多く来てくれています。各学年自分の生活ペースに合わせて、それぞれにあった利用方法で上手くセンターを活用してくれています。今年の6月は、ひと月当たりの利用者数がセンター開設以来一番多かったです。素晴らしい(^^♪)

また、より多くの生徒に利用してもらうために、いろいろなところを日々改善しています。例えば、一般的な学校の学習机に加え、集中用の机(周囲が仕切りで囲われた広めの机)を新しく導入したり、意見箱を設置したり、生徒が分からないところをすぐ



に聞きやすくするための工夫など、生徒一人一人がそれぞれの夢に向かって努力できる『もう1つの勉強部屋』としてこれからも進化していきます!!

Instagramに普段の様子を上げていますので気になった方はぜひご覧ください(^^♪)